

一般社団法人 大曲青年会議所 2018年度

基本方針（案）

総務広報委員会担当

副理事長 茂木 健太

大曲青年会議所は、昨年創立45周年という節目の年を過ごすことができました。創立から今日に至るまで数々の事業を展開してきましたが、私達の運動はどれだけ住民や地域に根付いているでしょうか。私達の運動をより力強く推進して行くには、住民からの理解、そして、志を同じくする諸団体との連携及び協力が欠かせません。大曲青年会議所が中心となって地域社会を巻き込み、時代に即した方法で情報を発信していく必要があります。

まずは、大曲青年会議所が魅力ある事業を展開していくために、会務管理を徹底し、各委員会の企画、実施、検証までの運営をサポートします。そして、大曲青年会議所が一致団結して活動を推進していくために、事業や各種大会への参加促進を行い、同じ時間を共有することで、会員同士の友情と絆をより強固なものにします。さらに、私達の活動への認知度を高め、住民の定例会等への参画につなげるために、口コミによる情報拡散に加え、ホームページやSNS、マスメディアを活用し継続的に発信します。また、今後の運動の発展へつなげるために、私達が行ってきた事業を多角的に検証し、事業に対する想いや事業の成果を、褒賞事業を通じて対内外へ発信します。そして、NEXT大仙郷VISIONの実現に向け、交流29年目を迎える中和国際青年商會と築いた友情と絆をより確かなものにするために、歓待事業を通じて会員の国際感覚を養い、世界との友情を育む機会を創出します。さらに、これからの大曲青年会議所の活動をより価値あるものにするために、今までの事業内容を検証し、記録を整理、集約し、共有できる情報としてまとめます。

新たな価値を創造する旗手として現状に満足することなく、切磋琢磨し合う会員一人ひとりの責任ある行動と、まちを想う私達の運動の発信が住民からの期待と信頼を勝ち取り、地域社会を巻き込んだ大きな輪となり、明るい豊かな活気あふれる大仙郷を実現します。